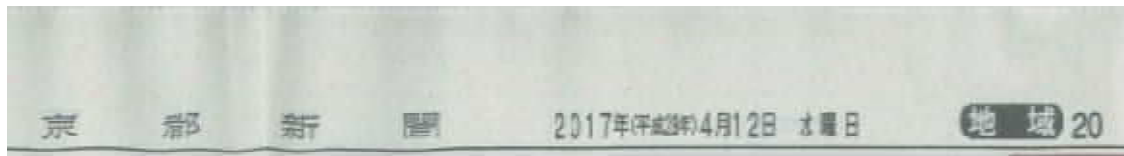


社会福祉法人白百合会 支援事業
“菜の花摘み体験”



菜の花摘み「楽しい」

障害者ら雨の中、丁寧に

大原

京都市左京区大原で11日、障害者が菜の花摘みを体験する催しが開かれた。摘んだ菜の花は漬物に加工し、30日、里の駅大原で販売する。

京都洛北ライオンズクラブ（左京区）が、「奥田しば漬け本舗」（同区）の協力で催した。

この日は、就労支援施設「リ・フラン京都中京」（中京区）と、「ヒューマンプラス」（左京区）の計14人が参加。あいにくの雨の中、奥田本舗の菜の花畑で、「5センチ未満のつぼみを選んで」などと地元ボランティアの指導を受けながら、丁寧に菜の花を摘み取っていった。

参加した林遼平さん（30）は「雨は大変だったが、いっぱい摘めて楽しかった」と話していた。（山口愛実）



雨の中、菜の花を摘む参加者たち（京都市左京区大原）

京都新聞朝刊 地域市民版紙面 2017年4月12日（水）掲載

社会福祉法人白百合会支援事業“菜の花漬・菜の花摘み体験”として、4月11日(火)白百合会の利用者さんは左京区大原にあるL奥田の菜の花畑にて菜の花摘みを体験。

強風雨の中、防寒具に身を包み、4月30日(日)開催の大原里の駅にて販売する”菜の花漬”の為、ひとつ、ひとつ丁寧に菜の花を摘んでおられました。

“洛北 Marche in 里の駅大原”開催

4月30日（日） 早朝6時～午後3時頃まで

里の駅大原にて、白百合会の利用者さんたちが摘んだ菜の花を“菜の花漬”にして販売します。

他にも“なすの麴漬”“手刺繍 春の花ふきん”“クッキー”等も販売されます。

収益金はすべて社会福祉法人白百合会へ寄付し、利用者さんたちのお給料となります。

里の駅では、地場産の新鮮なお野菜やつきたてのお餅やパンなどの販売ブースもございます。

皆様お誘い合わせの上、春の大原へドライブを兼ねてぜひお越しください。



ひとつひとつ丁寧に摘んでおられます

冷えた体をあためて



緊張した面持ちで 新聞記者さんからインタビューを受けているところ



昼食は大原名物 山弁当



井戸水でしっかりと洗い、塩をまぶし重石で一晩漬け込み、明日にはぬか袋の間に挟み風味漬